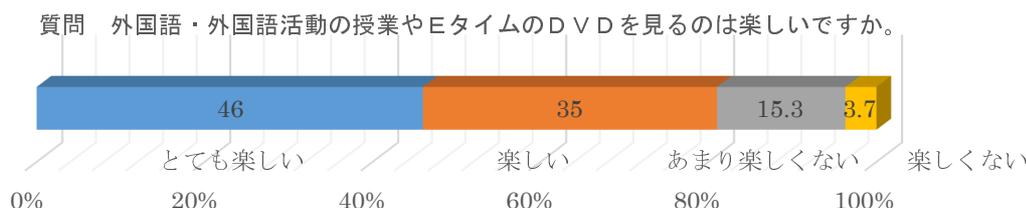


令和5年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和5年度1年生から4年生の児童にアンケートを行ったところ、「外国語・外国語活動の授業やEタイムのDVDを見るのは楽しいですか」という質問に対し、「楽しい」、「とても楽しい」と回答した児童は、全体の81.0%。「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた児童は、全体の19.0%だった。このことから、8割以上の児童が、楽しみながら外国語・外国語活動に取り組んでいることが分かる。

【資料1】児童のアンケート結果



2 学校関係者評価結果

令和5年度に行った保護者向けのアンケートでは、「外国語の授業やEタイムのDVD視聴など、外国語活動に取り組んでいるのはよいと思いますか」という質問に対して、「よい」「とてもよい」と答えた保護者は、全体の98.4%とたいへん多く、大多数の保護者の理解を得ることができていると考えられる。

【資料2】保護者のアンケート結果



3 まとめ

資料から、多くの児童は毎日のDVD視聴を通じて英語で話されている内容を概ね理解し、楽しく学習できていると思われる。これまで本校で継続的に積み上げてきた。

授業実践、及び児童による企画をもとにした英語集会などにおいて、主体的に英語を楽しみながら学ぶことができているとされており、多くの児童が「楽しい」と感じる外国語・外国語活動の授業につながっていると考えられる。一方、19.0%の児童が楽しくないと感じており、全ての児童が楽しみながら学ぶことができるよう、新しい教科書を使っのさらなる指導法の工夫、改善が必要である。

今年度も、低・中学年では「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語活動を通じて外国語に慣れ親しみ、外国語学習への動機づけを高めた上で、高学年から始まる「読むこと」「書くこと」に無理なくつなげることができるよう、指導を重ねていきたい。また、「One day ALT」と称した、一日ALTと触れ合う場を生かし、児童が主体的に英語に慣れ親しみ、豊かな経験を積んでいけるようにしていきたい。